


## 令和5年度 能代市立学校視察報告

1 参加者 金子智雄教育長 澤田健教育部長 丸山順子指導課長

### 2 行程

4月27日 (木)	能代市立湍城南小学校 視察	5校時 全クラス 授業観察 Friend School (豊島区立朋有小学校) に中継 湍学校経営方針説明・授業について感想、質問 能代市教育委員会参事・指導主事指導講評 北羽新聞取材
	サイエンスパーク・能代市 子ども館視察	4月30日リニューアルオープン前に視察 宇宙に特化した展示見学
	能代市長、教育長、教育委員に挨拶	
4月28日 (金)	能代市立能代第二中学校 視察	学校経営方針説明 2校時 全クラス 授業観察 授業について感想・質問

### 3 授業視察内容

湍城南小学校 矢田瑞穂校長 (前指導課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊島区教育委員会の来校をチャンスとして、学校全体で授業づくりを行った。</li> <li>掲示が整っており、どのクラスでも作品が後ろ壁面、お知らせが右壁の前方、既習事項が右壁の後方となっている。</li> <li>ねらい、学習課題、めあてを明確にした上で、確実に45分の間に振り返りまで行う。</li> <li>タブレットは、学習課題解決のため、教師が各児童の学習の進捗状況を見るためのツールとして、適宜活用している。(持ち帰りは未整備)</li> <li>教育の専門家としての確かな力をつけるための努力を厭わない。</li> </ul>	
能代第二中学校 工藤真弘校長 (元指導課長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校全体で「いい授業」のイメージが共有できている。</li> <li>学年・教科が違って共通実践することを切り出し行動する「協働研究体制」が確立されている。</li> <li>教師の違いによって生徒の「学び方」に違いがないように、「当たり前」の精度を高める。 〔板書、ノートテイキング(板書とノートは同じ)、掲示、1単位時間の流れ〕</li> <li>基礎・基本の定着はAIドリル、探究的な学習はノート</li> <li>タブレットを活用して、学んだことを発信する機会を多く設定している。 (相互にプレゼン、意見発表など)</li> </ul>	

#### 4 今年度の能代市との教育連携

##### (1) Friend School (小学校7校、中学校1校)

- ・児童・生徒の学習発表の場
- ・児童生徒の意見交換の場
- ・教員同士の学びの場
- ・研究開発校の研究発表会を中継
- ・大学連携のオンラインイベントの招待

##### (2) 能代市立学校への訪問 (予定)

ねらい：児童・生徒の学力向上に向け、能代の子どもの「学び方」を参考にし、豊島区の教員の授業力の基礎を向上させる。

日程：令和5年11月頃 1泊2日

対象：豊島区立学校教員（10名程度）

##### (3) 「豊島っ子の学び」(仮称)の作成

授業の当たり前を、豊島区としても明確にし、どの学校でも、どの教員でも実践できるようにする。

